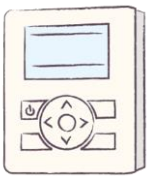
事業者の皆様

夏季の省エネに取り組みましょう

全オフィスで消費電力の１％を節電すると、
毎日、家庭約１６万世帯が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。



冷房の省エネ対策

- ☑ 執務室の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる。 省エネ効果 約４％
- ☑ 日中の日射を避けるために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。 約４％
- ☑ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、空調を停止する。 約２％



照明の省エネ対策

- ☑ 可能な範囲で執務室や店舗エリアの照明を間引きする。（省エネ効果は照明を半分程度間引きした際の数値） 省エネ効果 約13％
- ☑ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、消灯する。 約３％



機器の省エネ対策

- ☑ 長時間離れるときは、OA 機器の電源を切るか、 スタンバイモードにする。 省エネ効果 約４％

その他の省エネ対策

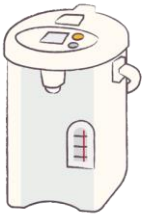
- ☑ **自動車**を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践する。（ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、無駄なアイドリングはしない等）



- ☑ **暖房便座**は使用状況を確認し、夏は便座や水の温度設定を「切」にする。



- ☑ **電気ポット**を使わないときは、電源をオフにする。



※「省エネ効果」は点灯帯（17時頃）のオフィスの電力使用量に対する省エネ効果の概算値で、地域・時間帯による違いを考慮に入れた全国平均の値です。地域・時間帯により省エネ効果は変動します。

経済産業省では、企業・家庭向けの省エネ支援を強化しています。
企業には省エネ設備への更新や省エネ診断、家庭には高効率給湯器の導入などを支援しています。詳細は「省エネポータルサイト」をご覧ください。

省エネポータルサイト　検索

経済産業省
資源エネルギー庁
Agency for Natural Resources and Energy